

東京湾海況情報 29-1

東京湾水質調査結果 (平成29年4月)

(平成29年4月13日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査4/4：内湾(ふさなみ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(4/4)、東京湾口海況図(4/4)
 モニタリングポスト(4/4：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温は12～13℃台で、平年より1～2℃低めです。塩分は31～33台で、平年より高めです(図1)。

内房海域の表層水温は13～16℃台、塩分は33～34台で平年より高めです。塩分33.5以上の水塊が内湾中央部の水深25 m付近までみられます(図3)。

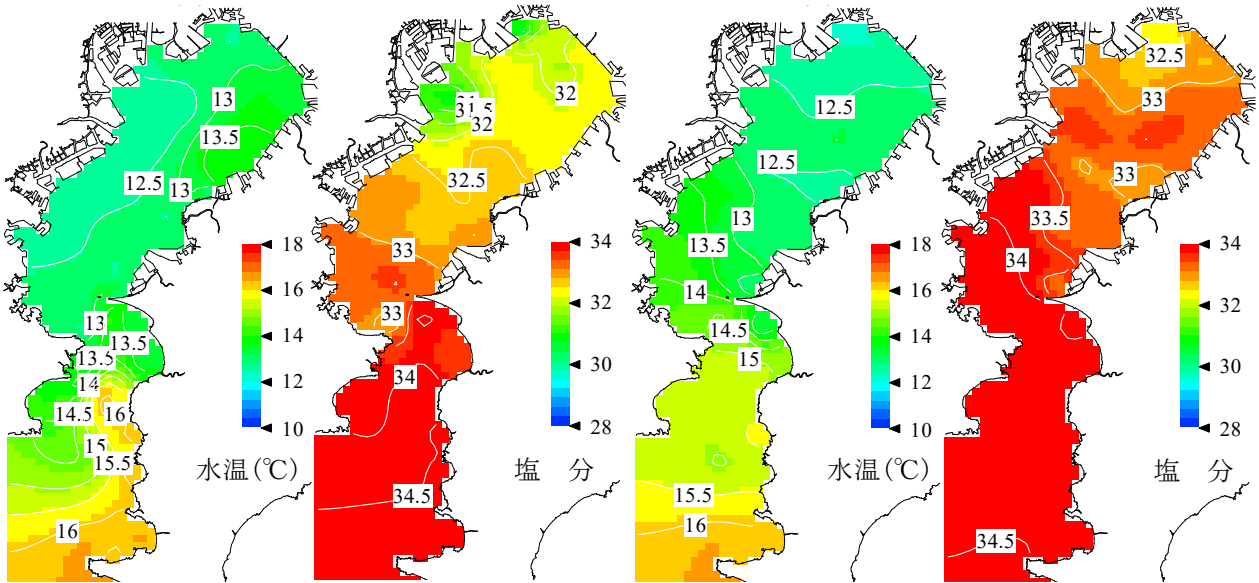


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

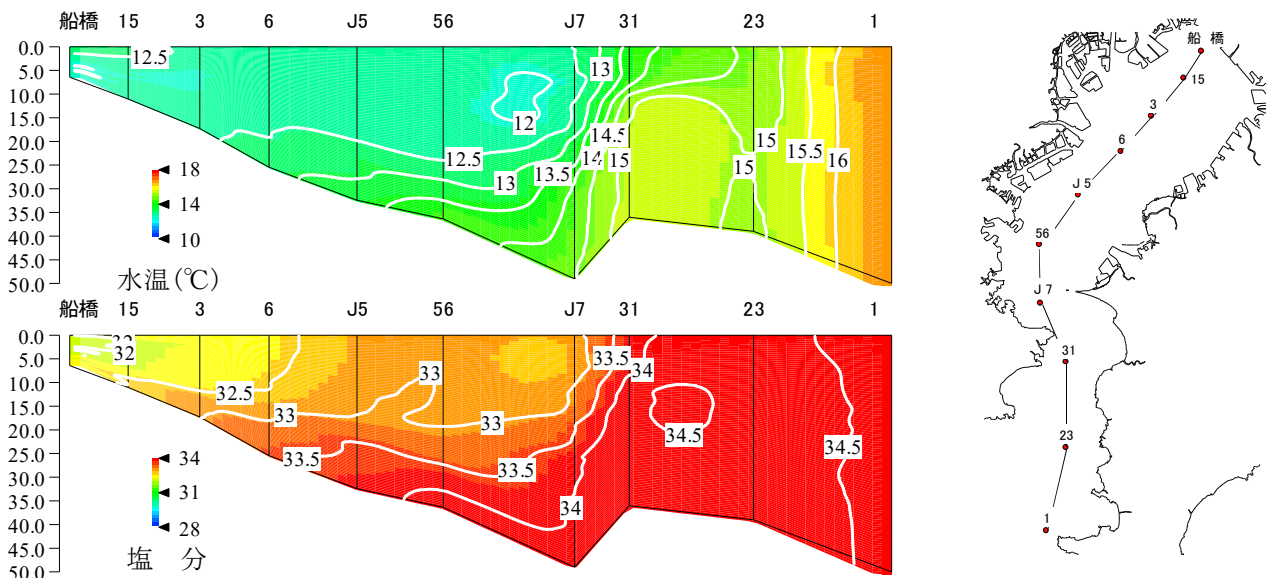


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は発生していません。
 内湾の透明度は2~4 m台、内房海域の透明度は4~16 m台です（図4）。
 プランクトンの優占種は渦鞭毛藻類のセラチウム（*Ceratium fusus*）です。
 魚貝類に有害な種類はみられません。

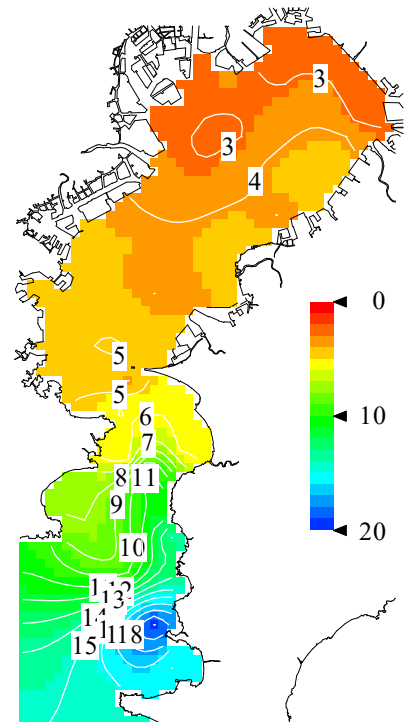


図4 透明度の分布 (m)

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。
 色 : オリーブ~褐色
 酸素飽和度 : 150%以上
 透明度 : 1.5m以下
 pH : 8.5以上
 クロロフィルa : 50 μg/L以上

【 貧酸素水塊の状況 】

幕張沖深堀部を除き、貧酸素水塊は発生していません（図5, 6）。

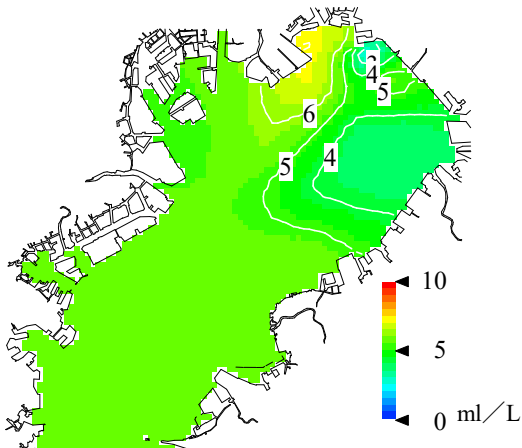


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

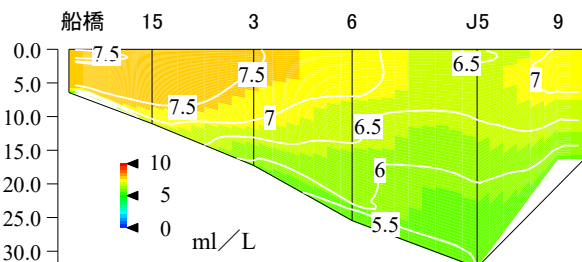


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L（酸素飽和度50%）以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

内湾で表層の窒素(DIN)が平年より低めです（図7）。
 ただし一部に500 μg/Lを超える海域（調査点54）がありました。

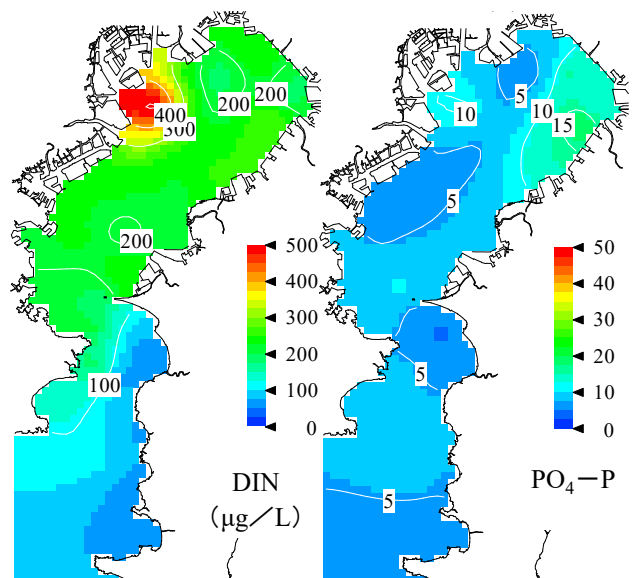


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

C型流路 黒潮は、引き続き八丈島の東側を北上しており、房総沖では大きく離岸して流れています。(図8)。

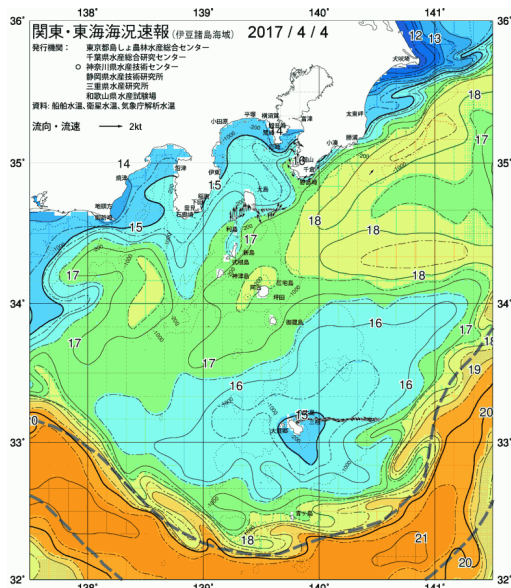
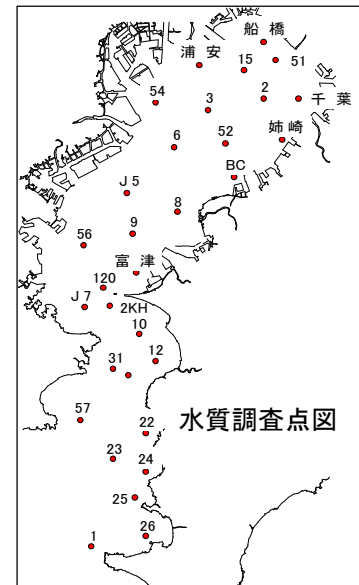


図8 黒潮の動き (平成29年4月4日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2007~2016年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	12.5 (14.3)	31.9 (30.8)	2.7 (2.4)	8.4 (8.5)	5.5 (6.5)	0.0 (28.1)	232.4 (285.0)	7.2 (7.5)
	st.15	12.8 (13.9)	32.1 (30.7)	3.0 (2.6)	8.4 (8.5)	6.6 (4.3)	0.0 (12.5)	177.4 (295.1)	4.2 (2.9)
	st.3	12.3 (13.8)	32.1 (30.7)	3.0 (3.0)	8.5 (8.4)	5.8 (4.2)	0.0 (19.0)	247.1 (341.8)	5.4 (2.9)
	st.6	12.3 (13.5)	32.4 (30.6)	3.2 (3.5)	8.4 (8.4)	5.3 (4.0)	0.0 (23.6)	260.6 (358.4)	4.5 (2.8)
	st.9	12.9 (14.0)	32.6 (31.4)	4.0 (3.8)	8.4 (8.4)	5.5 (4.9)	0.0 (19.4)	195.3 (274.4)	5.5 (3.3)
	st.BC (盤洲Cブイ)	13.7 (14.3)	32.5 (31.9)	4.0 (3.5)	8.3 (8.3)	5.4 (5.2)	35.6 (25.3)	246.2 (256.9)	10.5 (5.4)
	st.8 (盤洲A南)	12.6 (13.7)	32.5 (32.0)	4.3 (3.8)	8.4 (8.3)	5.4 (4.7)	18.6 (24.2)	209.9 (254.6)	5.8 (4.4)
	富津	12.5 (14.4)	33.1 (32.0)	4.5 (3.6)	8.3 (8.3)	5.4 (5.1)	33.1 (32.6)	229.6 (233.8)	6.7 (3.4)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	13.0 (13.8)	33.2 (32.8)	4.0 (4.6)			0.0 (17.7)	164.1 (188.1)	5.0 (5.3)
	st.31	13.6 (13.6)	33.8 (32.9)	6.0 (5.1)			0.0 (7.6)	150.3 (184.2)	5.6 (4.1)
	st.23	14.7 (15.6)	34.3 (34.3)	10.0 (10.2)			0.0 (6.8)	84.7 (43.4)	6.5 (4.5)
	st.1	16.4 (15.6)	34.8 (34.5)	16.0 (11.4)			0.0 (9.0)	46.8 (60.2)	3.1 (6.7)
	st.10 (下洲沖)	13.8 (14.0)	33.9 (33.2)	6.0 (5.2)			0.0 (10.8)	69.0 (150.9)	2.5 (5.6)
	st.12 (湊沖)	13.4 (14.3)	33.5 (33.4)	6.0 (5.4)			0.0 (8.9)	41.0 (112.0)	4.1 (4.0)
	st.22 (保田沖)	16.1 (15.3)	34.6 (34.2)	14.0 (9.0)			0.0 (8.3)	46.5 (54.2)	5.4 (4.1)
	st.24 (富山沖)	16.2 (15.7)	34.6 (34.4)	15.0 (10.3)			0.0 (10.4)	45.9 (39.5)	5.2 (5.5)
	st.26 (館山湾内)	16.3 (15.8)	34.6 (34.4)	16.0 (10.0)			0.0 (8.9)	28.6 (40.9)	4.3 (6.1)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。